

■発行元：LOVE あばしり実行委員会 www.facebook.com/loveabashiri ■お問い合わせ先：we_love_abashiri@yahoo.co.jp
 ■編集長：渡辺和也 ■企画・編集：伊藤敬文/伊藤雄一/北乃勘九郎/北畑紀和/清原鉄男/佐藤正隆/杉本かなえ/武内孝行/平賀貴幸/松原美里/吉田智美/渡辺和也
 ■構成：板橋幸太郎/川原田晋也 ■発行日：2014年6月13日

協賛 有限会社船陽電機
 佐藤正隆行政書士事務所

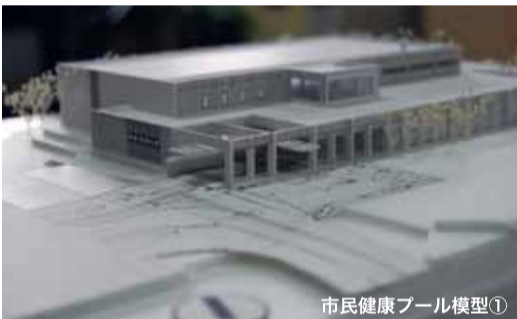
無 TAKE FREE! 料

網走市では「市民健康プール」、そして「流水館・展望台」と大きな公共事業が予定されています。

はじめに「市民健康プール」をご紹介します。網走市のプールは1984年建設ですから今年でちょうど30年。老朽化と「冬期間使用できない」プールということもあり、建て替えて欲しいという声は小さくありませんでした。併せてスポーツ振興と健康増進機能を持った施設が欲しいという声もあり、建て替えることに。

新しく建設するプールは、水泳協会などの市民団体も積極的に働きかけを行ったこともあって、公認プールとして一定規模の大きな大会も開催できる仕様になるとのこと。

少子化でもプールで泳ぐお子さんは増加中とのことですから、経済効果も見込めます。改めて「市民活動の力」はすごいですね。



市民健康プール模型①



市民健康プール模型②



市民健康プール模型③

議会と網走市を動かしたのですから。取り組みをされた保護者と子どもたちの今後の活動にも注目です。

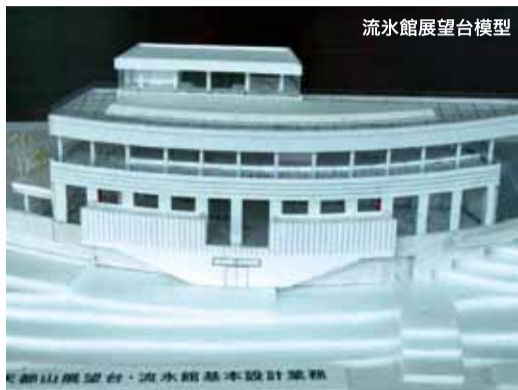
さて、建て替える場所はこれまでテニスコートがあったところ。現在よりも少し奥になりますが、駐車場も広がるので車ででの利便性は高まるかも。競泳プールのほか、子ども用プールに、スロープもついた多目的プールもあり、健康増進のためのウォーキングや水中体操などにも使いやすいそうです。室温は冬でも一定に保たれるほか、採暖室とジャグジーも設置されるので、通年利用も実現します。

これまで市民プールの利用の多くは「子どもたち」でしたが、今後はそれに加えて高齢者や障がい者の利用も増えてくるでしょうから、スポーツと健康づくりの拠点として来春のオープンが待ち遠しいところです。

次に流水館・展望台をご紹介します。この施設も全面改築となります。これまでこの施設は独立採算に近い形で運営していましたが、近年入館者の減少から網走市からの資金繰り入れ対象施設に。今回、網走市全体の観光を上向きにしたいという関係者の思いもあり、建て替えを行うことになりました。

プールもこの施設も国の「元氣臨時交付金」の対象施設で、必要な予算の多くは国からの交付金でまかなわれますが、それでも持ち出しはあります。このことから、プールと違ってこの施設の先行きを不安視する声があるのも事実です。

網走市の計画では毎年入館者が減少すること



流水館展望台模型

なっていますが、これがその不安に拍車をかけているとのこと。綿密な計画と経営努力が必要な状況にあるのは確かでしょう。

新しい施設は地下に有料観覧スペースを設け、流水の展示を「鱒浦海岸のある冬の1日」が流れるような映像とともに進むほか、プロジェクションマッピングを活用するなどして、視覚効果の高い演出で感動的な施設を実現するとしています。

また、地上1階にはギャラリーや物販スペースなどが設置され、2階にはカフェと多目的スペースが。3Fは屋上となり、オホーツクの大パノラマを見ることが出来る構造です。

この施設は来年の夏をめどに開業されるとのこと。同じくオープンを待ち遠しく思っています。(平賀 貴幸)

市民の期待を受けて
 施設を建て替えて
 地域経済への影響に
 期待と不安が交錯する

ツナグマ × 中目黒 × 網走

私が代表を務める、網走食材を扱う会社・ツナグマのオフィスは、目黒川両岸に植えられた830本あまりある「目黒川の桜並木」の近くにありま

す。網走出身である私は、東京に出て、人の多さや分刻みに動く環境・食文化などの違いで自身がアレルギーに悩まされ続けたという経験があります。私はその時、網走に一度戻り網走の食材を食べることで体調が戻ったという体験をしました。そこで私は網走の安心で安全な本当に美味しい食材を東京にも広めたいと、ツナグマを立ち上げたのです。

私はやっぱり『網走っ子』だなんて思います。のどかが好き、というかしっくりきます。そしてこの中目黒はどこかのんびりした雰囲気のある街で落ち着くんです。ここから網走の良さを伝えていきたいと思っています。

ツナグマでは毎月いろんなイベントを開催しています。4月27日には、西麻布の会員制レストランでシークレットパーティー、大手町のピス



ツナグマ代表 金澤このみプロフィール

網走市生まれ。家業を手伝い、外資系保険会社の営業を経験。その後、音楽を志し、上京。音楽活動をやりながら2014年2月にオホーツクの食材を東京、そして世界に広め、地元を活性化することを目標にする会社「ツナグマ」を立ち上げ、代表取締役就任、現在に至る。

トロフレンチ・リオンでは網走から届く、強烈な海の幸『カニ小屋と海産物祭り』を開催。網走の食材は、東京の人にとってインパクトが強い濃厚な味わいです。ただ、東京はニーズが少し違うと感じる事もあるし、輸入物も多く、旬の感覚は3ヶ月は違うと感じます。

東京の人達が何を望んでいるかというニーズを吸い上げ、網走の生産者に伝え網走の食材の良さを伝えていきたい！刑務所だけではなく、「本当に美味しいものが沢山ある事をもっと東京の人に知ってもらいたい！」ツナグマは、網走の食材を広めるアンバサダーになりたいと思っています。

東京に生まれ育った友達から、「故郷があるって羨ましい！」ってよく言われるんです。「ちょっと田舎に帰ってくる」って言って、帰る場所があることに憧れるみたいですね！私の帰る場所、網走には、海や湖、そして山がある。みんな美味しいものが大好き。美味しいものを食べると、子どもも大人も笑顔になる、笑顔は最高のアクセサリーなんです。

私の好きな言葉は、『Yesterday is history. Tomorrow is Mystery. Today is present.』『昨日の事は歴史になってもう過去の事。明日の事は誰にも分からない。そして今日を生きよう。過去を振り返ったり、将来のことを思い悩むより、今日この一日がプレゼントなんだから今日を感謝して生きよう』という意味です。

有り難い事に、私の周りにはたくさん活躍してる女性や経営者がいます。そんな先輩達に教えて頂き、背中を追いかけながら、私もまた、

女性も男性も個性を発揮し羽ばたける会社を目指していきたいです。(金澤このみ)

網走と映画の関係

網走市で実際にあった恋愛ストーリーを映画化した『抱きしめたい～真実の物語～』、みなさん観にいかれましたか？

私も、もちろん行きましたが想像以上に感動し、涙が溢れて来ました。

さて、今回は前回お話した通り、あの感動をもう一度！ということでロケ地巡りをしてます。本当は紹介したい場所がたくさんありますが、紙面の関係上、厳選した4か所を紹介いたします。

エコセンターは劇中、病院として使われていました。2人が出会う運命の場所は総合体育館が。(写真①)



①総合体育館

藻琴駅(写真②)は2人でカレーライスを食べていた思い出の駅。ちなみにここは様々な映画

で使われています。そちらの紹介はまた今度。



②藻琴駅

感動の径(写真③)は、2人で北見に出かけるときに通った道。あの楽しそうな車中の風景はここで撮影されました。



③感動の径

いかがでしょう。あの感動が蘇って来ませんか？

個人的な一番のお勧めはやはり印象的なシーンのエコセンター。雅己が泣き崩れる場所ですね。

記念にあのシーンと同じ場所、同じポーズで写真撮影されてみてはいかがでしょうか。

今回は網走がタイトルに使われている『網走番外地』を紹介したいと思います。今から全シリーズをしっかり復習します！(伊藤敬文)